主題：ノア、ダニエル、ヨブ――
命の路線において勝利を得る命を生き、神のエコノミーを完成する模範

メッセージ　3

ノア（3）

天の王国で神の義としてのキリストを生きる義の相続人

聖書：ヘブル 11:7．ローマ 1:16-17 前半．マタイ 5:20．6:33 前半．Ⅰコリント 15:34．Ⅱコリント 5:21．ピリピ 1:11．3:9．Ⅱテモテ 4:8．Ⅰヨハネ 3:7 後半．啓 19:8．Ⅱペテロ 3:13

Ⅰ．「信仰によって、ノアは‥‥信仰による義の相続人となりました」――ヘブル11:7：

A．神の義は単に神の属性だけではありません。それは神ご自身です――ローマ 3:21．10:3。

B．ノアは神を信じ、彼の信じることは神によって彼の義と勘定されました。それはアブラハムに対してと同じです――創 15:6．ローマ 4:4-5, 9。

Ⅱ．「福音は‥‥すべて信じる者を救いに至らせる神の力です。なぜなら、神の義はこの福音の中で啓示され」――1:16-17前半：

A．神の義は確固として安定しており、神の御座の土台であり、神の王国が建て上げられる基礎です――詩 89:14．ローマ 14:17。

B．神の義は神の福音の中で啓示されます。ですから福音は、すべて信じる者を救いに至らせる神の力です。

Ⅲ．「あなたがたの義が聖書学者やパリサイ人の義にまさっていなければ、あなたがたは決して天の王国に入ることはない」――マタイ5:20：

A．この義は、客観的な義を指しているだけではありません。客観的な義は、わたしたちが信じた時に受けたキリストであり、こうしてわたしたちは神の御前に義とされます。この義はそれにもまして、主観的な義を指しています。主観的な義は、わたしたちの義として、わたしたちから生かし出された内住のキリストです。それは、わたしたちが今日、王国の実際の中を生き、将来その出現の中に入ることができるためです――ローマ 3:26．Ⅰコリント 1:30．啓 19:7-8。

B．わたしたちの天然の命がこの超越した義を得ることは不可能です。それはさらに高い命、キリストの復活の命によってのみ生み出すことができます――ヨハネ 11:25。

C．この超越した義は命の義であり、わたしたちはそれを、命の霊の法則にしたがいキリストをわたしたちの命とすることによって生かし出します――コロサイ 3:4．ローマ 8:2。

Ⅳ．「まず神の王国と神の義を求めなさい」――マタイ6:33前半：

A．神の王国とは神の支配また統治です。

B．神の願いは、彼の支配、権威、統治の下にあり、神にしたがって義である一組の人を得ることです。

C．わたしたちを再生することでの神の意図は、わたしたちを彼の天的支配の下にもたらすことです――ヨハネ 3:5．啓 1:6, 9．5:10。

D．召会生活は神の王国であり、神の王国は義です――ローマ 14:17．詩 89:14。

E．神の義があるところに神の王国もあります――イザヤ 32:1．ヘブル 1:8-9。

1．義は統治、行政、規定、支配と関係があります。

2．義があるところで、すべてのものが正常な方法でかしらにつり上げられます。これが王国です。

Ⅴ．「泥酔の状態から、義しく目覚めなさい」――Ⅰコリント15:34：

A．義しく冷静な思いになることは、泥酔の状態から目覚めて冷静になることです。それは泥酔するのを義しくやめることです。

B．だれでも霊的に眠っている者は、神に対して、人に対して、彼自身に対して、召会に対して正しくありません――エペソ 5:14．Ⅰテサロニケ 5:6-8 前半。

Ⅵ．「神は罪を知らなかった方を、わたしたちに代わって罪とされました．それは、わたしたちが彼の中で神の義となるためです」――Ⅱコリント5:21：

A．キリストの中で、わたしたちは神によって義とされているだけではありません。わたしたちは実は、神の義となっているのです。

B．復活の中で、キリストはわたしたちの中に命として入って来ます。この命はわたしたちの中で生きて、わたしたちを神の義へと構成します――ガラテヤ 2:20．コロサイ 3:4。

C．「彼の中で」という句は、わたしたちとキリストとの結合を指しています。キリストとの有機的結合の中で、わたしたちは神の義となります。

D．キリストの中で神の義となるとは、わたしたちの存在において神に対して正しくなることです。

E．神の義は神ご自身です。ですから、わたしたちがキリストの中で神の義となるとは、命と性質において（神格においてではない）神となることを意味します。

Ⅶ．「イエス・キリストを通して来る義の実で満たされて、神の栄光と賛美となるように」――ピリピ1:11：

A．義の実は、信者が神と人の前で義なる立場に立ち、義の要素によって正常な生活を生きたことの生ける産物です。

B．義の実は、わたしたちがキリストを経験し享受することを通して来ます。

C．わたしたちが義の実で満たされているなら、愛においてあふれ、異なるものをテストすることによって証明し、純粋で非難されるところのない者となります―― 9-10 節。

Ⅷ．「そしてキリストの中に見いだされるためです．それは、律法からのわたし自身の義を持つのではなく、キリストにある信仰を通しての義、すなわち信仰に基づく神からの義を持って」――3:9：

A．キリストの中に見いだされようとするなら、わたしたちは自分自身の義を持たないという条件を満たす必要があります。

B．信仰に基づく神からの義とは、わたしたちから生かし出され、キリストにある信仰を通してわたしたちの義となる神ご自身である義です。

1．この義は神の義であり、実は神ご自身です。

2．神と人に対して正しい生活は、わたしたちの日ごとの生活におけるわたしたちの

表現としての神です――Ⅱコリント 3:9．エペソ 4:24．コロサイ 3:10。

ａ．わたしたち自身の義とはわたしたち自身の表現、「わたし」の表現です。

ｂ．神の義とはわたしたちから生かし出された神です。それはわたしたちの生活また表現となる神です。

Ⅸ．「義の冠‥‥義なる審判者である主が‥‥主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます」――Ⅱテモテ4:8：

Ａ．義の冠が与えられるのは、主の恵みにしたがってではなく主の義にしたがってです。それを授ける方は、義なる審判者である主です。

Ｂ．義の冠は、主の出現を慕い、現在の時代を慕わないすべての人に与えられます―― 10 節。

Ⅹ．「義を行なう者は、彼が義であられるように義なのです」――Ⅰヨハネ3:7後半：

Ａ．義を行なうとは義なる命を生き、神の支配の原則の下で正しく生きることです―― 2:29。

Ｂ．義を行なうとは、わたしたちの中の神聖な命から出てくる自然な生活を持つことです―― 1:2．2:25．5:11-13, 20：

１．そのような生活は神の表現であり、神は彼のすべての行為と行動において義です。

２．この生活は命の現れであり、神聖な性質からの命の流れです。

XI．「彼女は輝く清い亜麻布を着ることを許された．その亜麻布は、聖徒たちの義である」――啓19:8：

Ａ．勝利を得た聖徒たちの義は主観的であり、勝利を得たキリストの要求に応じることができるようにします――マタイ 5:20．ピリピ 3:9。

Ｂ．聖徒たちから生かし出され、彼らの日常生活の中で、彼らの主観的な義として彼らを通して表現されるキリストは、彼らの婚宴の衣服となります――マタイ 22:11-13。

XII．「わたしたちは彼の約束にしたがって、義が住む、新しい天と新しい地を待ち望んでいます」――Ⅱペテロ3:13：

Ａ．ペテロの文書に見られる主要な事柄は、神の行政の中で維持される神の義です。ですから、彼は繰り返し神の行政を強調しています――Ⅰペテロ 2:23-24. 3:12, 14. 4:18. Ⅱペテロ 1:1．2:5, 7-8, 21．3:13

Ｂ．神が旧創造のすべての被造物に対して行なう行政上の裁きは、義を主要な要素としています。

Ｃ．神の義は新しい天と新しい地に住んで、神の新しい宇宙全体にあまねく浸透し、それを神の義の秩序の下に完全に維持します。ですから、裁きは全く必要でなくなります。

©2005 Living Stream Ministry